

香席を楽しむ参加者たち



# 香道部 伝統受け継ぎ20年

松本深志高校香道部の創部20周年記念行事がこのほど、松本市蟻ヶ崎3の深志教育会館で開かれた。伝統文化の香道に親しんできたOB・OGや現役部員ら約30人が集まり、部の歩みを振り返りながら複数組み合わせた香木の香りを聞き当てる組香席を楽しんだ。

3種類の香木を香炉でたいて1種類ずつ香りを聞き、それぞれ判断した順番を筆でしたためた。OB・OGも稽古を重ねる現役生も交じり、作法に沿った美しい所作で香りに集中していた。

平成14(2002)年度に愛好会として発

## 深志高記念行事に30人

足し、これまでに100人以上が所属。志野流香道の指導者・矢上千佳子さん(松本市里山辺)が手ほどきし、現在は1、2年生の14人が活動する。同部同窓会によると、香道に関する部活動は全国の公立高校で唯一となる。

同窓会長で創部した高校教諭・由上優太郎さん(36)「同市入山辺」は「文化が脈々と受け継がれていることがうれしい。人の輪や体験の場がさらに広がれば」と話した。2年生の部長・中田朋花さん(17)は「奥深さが魅力。貴重な経験ができるので、新入生にも広げたい」と力を込めていた。(鎌倉 希)